



「サンホセ Cafeteria、とってもおいしかったよ！」

サンホセ日本人学校 校長 半山章人

新年を迎え、保護者の皆さまには、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。子どもたちが毎日安心して、笑顔で学校生活を送ることができているのは、ご家庭での温かな見守りと支えがあってこそだと感じております。本年も職員一同、子どもたちの成長を支えるために力を合わせて取り組んでまいります。3学期は48日、どうぞよろしくお願いいたします。

「おいしい！これ本当に学校のコーヒー農園の豆？」12月12日に健康栽培委員が全校生と参観された保護者の方にコーヒーとコーヒーゼリーを振舞ってくれました。当初は、昨年に比べてコーヒーの実の収穫量が少なく、心配していましたが、子どもたちの愛情たっぷりの手作りコーヒーは、みんなが口をそろえておいしいと、健康栽培委員さんにお礼を言いながら飲みました。9月頃から健康栽培委員長を中心に、朝登校してきた子どもたちは校内にあるコーヒー農園に足を運び、赤い実を採りました。黒くなったものは捨て、緑の実はまだ、高いところは脚立を使ってなど工夫しながら選りすぐりの実だけを採りました。そしてその実を水につけて、皮をむき、乾燥させてフライパンで自家焙煎、家庭科室からはコーヒーの何とも言えない香りが漂ってきました。子どもたちは、先輩から引き継いできたその過程を振り返りながら、また次の世代に伝えるために手本を見せながら、一つのひとつの豆を大切に、そして丁寧にコーヒーを作りました。

また、コーヒー作りには、総合的な時間を利用して、様々な方の協力を頂きました。6月27日には大使館の古谷様に教えていただき、7月10日にはエウヘニア・モラレス農園に見学し、11月21日には宿泊学習で実際にコーヒーの実を収穫、また自分で調べるなど、たくさんの方々にお世話になりました。

これらのことを通して、コーヒーができるまでの過程を知るだけでなく、コスタリカという国の理解、協力、責任、感謝、働くことなど、たくさんの経験ができたと思います。2月の学習発表会をお楽しみに！

「2学期の学びの振り返り（自分の成長）より」

- 僕の日本語が少し上達した気がします。
- 新しい同級生がきてくれたおかげで、相手がわからないことをわかるように丁寧に伝える技術をより一層高く積みめました。
- 漢字がすこしおぼえられました。読むのがじょうずになりました。
- リコーダーを上手にふけるようになりました。
- 日本語ではっぴょうができました。
- 九九をおぼえたり、今までよりもっとべんきょうにしゅう中できました。
- ーりん車でアイドリングができるようになりました。
- 時間を守ることができるようになりました。
- 私は、みんなに声かけをたくさんできるようになりました。宿泊学習を通して、今までよりその時に適した声かけができました。
- 学校のことがわかってきて、他の人に聞くことが少しくなくなりました。



【コーヒーの実の収穫】



【コーヒーの実の皮むき】



【コーヒーの実の乾燥】



【コーヒー豆の焙煎】



【コーヒーゼリー作り】